

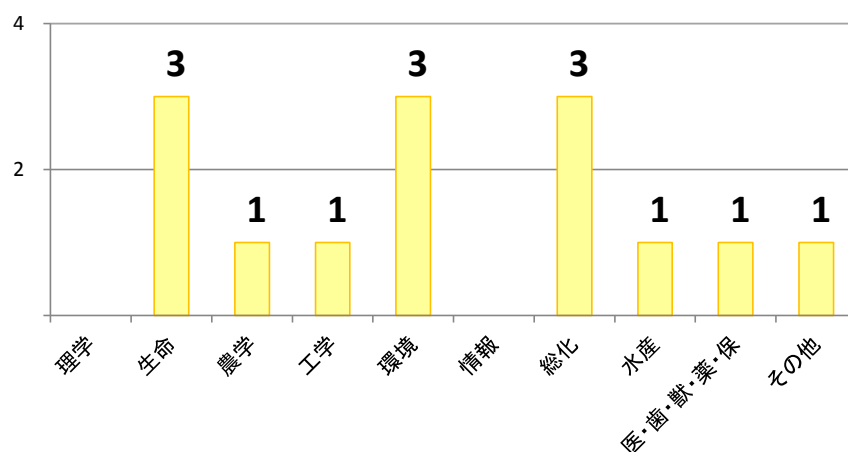
H25年度 第2回企業研究所視察(道外) アンケート

回答者数: 研究者12名

[1]所属・学年

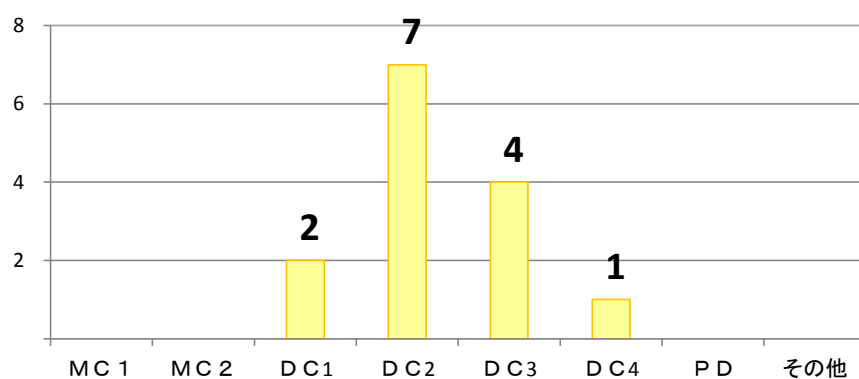
(所属)

1. 理学院/理学研究院 2. 生命科学院/先端生命科学研究院 3. 農学院/農学研究院
4. 工学院/工学研究院 5. 環境科学院/地球環境科学研究院 6. 情報科学研究科 7. 総合化学院
8. 水産科学院/水産科学研究院 9. 医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10. その他(具体的に)

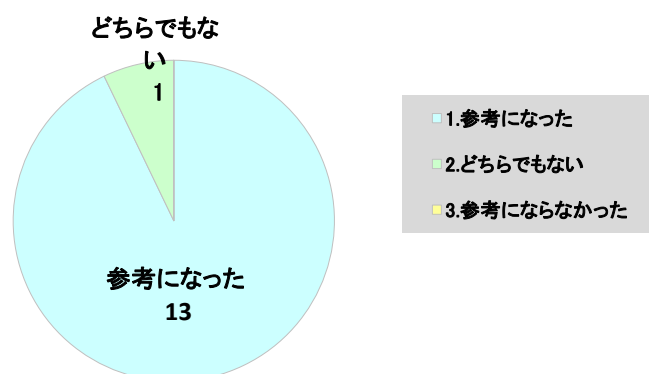


※その他: 文学研究科

(学年)



[2] 企業研究所視察は参考になりましたか？

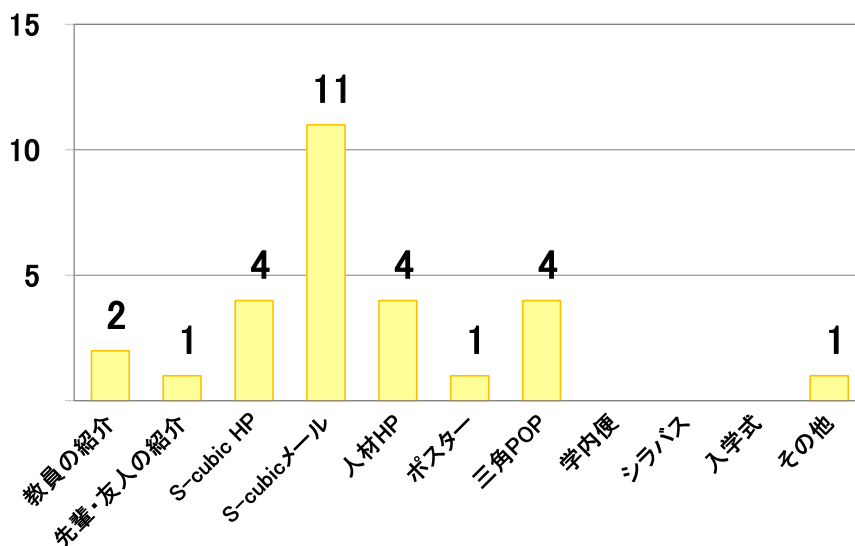


[2-1] 参考になった方:どの点が参考になりましたか？(具体的に)

1	企業の工場は見られても研究所を見る機会はほとんどなかったもので、実際にどういった環境で研究が行われているのかがよくわかりました。特に、麒麟さんの研究所では、私が現在用いている実験装置が大量に置いてあり、分析の面では大学よりも優れているような印象を受けました。 また、企業の研究所というと、都会から離れた辺鄙な場所にあるイメージを持っていたが、今回視察した麒麟さんは横浜に近く、富士ゼロックスさんにいっては横浜駅から歩いて伺うことができ、業種によって研究所の所在地も大きく違うということがわかりました。
2	就職活動中でもなかなか見ることのできない研究所内を見学できたこと。博士課程の学生に合わせた企業・事業の説明をしてくださったこと。2社を見学したことで、企業間の違い(ビジョンや取り組み)を比較できたこと。
3	企業の研究所を見学する機会はなかなかないので、どのような場所・雰囲気製品が生み出されていくのかを少しでも知ることができ、とても良い刺激を受けました。特に、自分の研究分野とは異なる企業の研究所を見学できたことで、その企業への親しみを持つことができました。
4	・麒麟(株)…基盤技術研究所での社員の働き方(どのような実験機器や実験動物を用いているか、オフィスと実験スペースの分け方) ・富士ゼロックス(株)…自分の専門分野外ですが、現在の最新技術に触れることができたこと。
5	富士ゼロックスさんの研究雰囲気は好きです。富士ゼロックスさんはお客さんが提出したニーズで、商品を開発します。また、時代に応じて変革力が必要だということがわかりました。この視察によって、富士ゼロックスさんにすごく興味が湧きました。
6	企業の研究所内に入ること自体初めてだったため、普段の研究環境との比較をしながら企業の研究環境をイメージすることができた。博士卒の研究者から直接企業での働き方や働く様子を教えていただくことができました。
7	普段目にするものがない、企業の研究所を見学することができた点が良かった。企業の研究職に就いた際に、どのような環境で働くのか、といった具体的なイメージを形成するのに大いに役立った。
8	研究所の視察そのものが私にとって初めての経験だったのですが、大学で日常的に過ごしている研究室との違いや、異なる分野での開発内容に強く興味を持つことができました。 具体的には、商品を開発するという点においては、費用対効果を常に意識しなければならない、単純に目的とする設計を考えるだけでは意味がないということを意識させられました。 また、事業所においては社内の人や顧客との円滑なコミュニケーションを図る時に、どのような環境を整えるべきなのかということを勉強させていただきました。
9	OBと直接意見交換ができた点。その会社でどのようにキャリアを積んでいるか、という点が特に参考になった。
10	企業の新ビジネスを紹介して頂きました。企業に見学した際に社内の雰囲気が掴めて、仕事の環境がよくわかりました。
11	企業の研究所と大学の研究室との差を確認できたので、その環境で働く時のギャップについて想像できた。
12	私の専門とは異なる研究所の見学でしたが、幅広い知識や経験のためには、大変良い機会であったと思います。
13	企業の研究を実際に行っている場所で企業の方の話を聞けたところ。

[3] 企業研究所視察の開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）

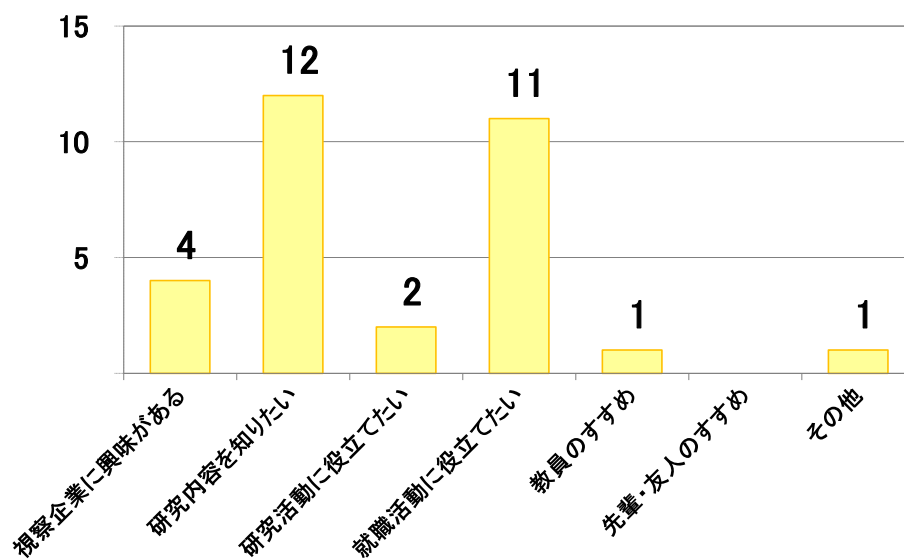
1. 教員の紹介 2. 先輩・友人の紹介 3. S-cubic HP 4. S-cubicの案内メール
5. 人材育成本部 HP 6. 研究所・学内の展示ポスター 7. 食堂の三角POP 8. 学内便による案内
9. 今年度のシラバスを見て 10. 大学院入学の際のオリエンテーションでの案内 11. その他（具体的に）



※その他:所属学科のメーリングリスト

[4] 企業研究所視察への参加理由（複数回答可）

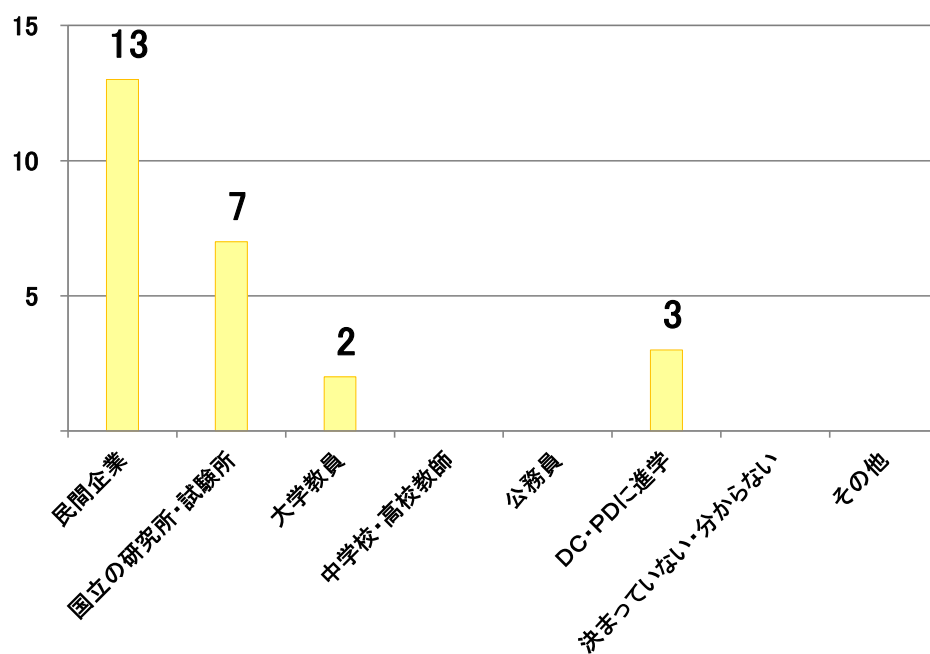
1. 興味のある企業の視察だから 2. 企業の研究内容・実態を知りたいから
3. 自分の研究活動に役立てたいから 4. 就職活動に役立てたいから 5. 教員にすすめられたから
6. 先輩・友人にすすめられたから 7. その他（具体的に）



※その他:就職について考え続けると気分が落ち込むので、気分転換。

[5] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)

1. 民間企業に就職したい 2. 国立の研究所・試験所に就職したい 3. 大学教員になりたい
4. 中学校・高校教師になりたい 5. 公務員になりたい 6. DC・PDに進学したい
7. 決まっていない・分からない 8. その他(具体的に)



[6] 今後、企業研究所視察で、視察したい企業の分野(企業/業種)を教えてください。	
1	私は化学を専攻しているので、化学メーカーの研究所を視察したいと考えています。メーカーによっては地方にある場合も多いので、道内や首都圏以外での研究環境、周辺環境を知りたいと思いました。
2	化粧品・製薬系の研究所
3	今後もメーカーに関する企業研究所を視察したいと思います。今回の活動は本当に就職に役に立ちました。
4	化粧品を研究・開発する企業の研究所(工場ではなく)の見学を行いたいです。
5	食品または製薬企業です。
6	化学専攻ですから、化学メーカーさんは視察したいです。
7	医薬品・バイオ系の研究所、独立行政法人の研究所
8	材料系企業の研究所を視察してみたいです。
9	東レ、帝人、旭化成、住友化学、富士フイルム／化学工業、JT／飲料・たばこ・飼料製造業
10	住友スリーエム、その他では化学メーカー、電気メーカー、化粧品メーカー
11	IT企業、理研や他の研究所
12	理化学研究所
13	土木工学
14	製薬企業、化学メーカー

[7] 企業研究所視察について、またはS-cubicへのご意見・ご要望など(自由にご記入ください)	
1	研究所をオープンにしている企業は少ないので、大学で企画して研究所を見学できるのは、通常見ることができない企業でも見られる可能性があるのも、ぜひともまた開催していただきたいと思います。
2	企業で働いている方の考え方や、実際の研究活動を知る良い機会でした。説明会だけでは伝わらない、企業の雰囲気を感じることができ良かったと思います。このような機会を設けていただき、ありがとうございました。
3	色々なことを行っていただき、ありがとうございました。
4	毎回、有名な企業の研究所を見学させていただきありがとうございます。 見学するだけでなく、社員の方々ともお話しすることもでき、就職活動を行う上で重要な位置づけになっていると思います。
5	今後も予定が合えば、参加させていただきたいと思っています。
6	今回の企業研究所視察で交流させていただいた企業で働く博士卒研究員の方々から、これまで大学でやってきた研究がそのまま生かせる場面は少ないかもしれないが、やってきた課程で得たスキル(コミュニケーション能力やマネジメント力など)が生かせることが多いと伺い、今後自分のキャリアパスを考える上で、とても参考になりました。OBの方々とは昼食をとりながらフランクに(最近の北大情勢についてなども含め)お話をさせていただき、疑問点など色々質問しやすく、とても満足しました。また次回も是非参加させていただけたらと思います。
7	民間企業への就職を考えている学生にとって、企業研究所視察はとても良い機会だと思います。自らのキャリアパスを選択する際に、他のキャリアパスと比較する良い材料になると思います。今回はこのような機会をご用意いただき、ありがとうございます。
8	今回の経験は、私にとって非常に有意義なものでした。ぜひともより多くの学生にこのような機会を大事にしてもらいたいと思います。
9	今回の食品・情報のように全然違う分野の会社の組合せがいいと思います。
10	満足しました。